

<特集「他動性」>

アイヌ語沙流方言における他動性 Transitivity in the Saru dialect of Ainu

吉川 佳見
Yoshimi Yoshikawa

北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員 / 東京外国語大学非常勤講師
Researcher, Ainu Culture Research Center, Hokkaido Museum / Part-time Lecturer, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集補遺「他動性」のアンケートの項目に基づき、アイヌ語沙流方言のデータを与えることを目的とする。

Abstract: This article offers Ainu (Saru dialect) data based on the questionnaire for the special issue “Transitivity”.

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002000397>

キーワード: アイヌ語, 沙流方言, 他動性

Keywords: Ainu, Saru dialect, transitivity

1. はじめに

アイヌ語は近年の急激な母語話者数の減少により、母語話者に対するアンケート調査がほぼ不可能な状態となっている。そこで本稿では、特集補遺「他動性」のアンケートの見出しになるべく近い用例を、公刊済みの文献（辞書含む）から抽出することとした。抽出できなかったものは「不明」と記した。アイヌ語は北海道、樺太、千島などの方言に大別され、さらにそれぞれの地域において細分化されるが、本稿で使用したデータは北海道南西部のアイヌ語沙流方言のもの（および沙流方言だと推測されているもの）である。

アイヌ語は現存する日常語の資料がきわめて少ないため、本稿に掲載したものは日常語の用例と散文説話における用例とが混在している。散文説話では日常語と異なる人称接辞の使い方をするが、そのほかについて両者の文法的な差異はほとんど無いとされている。散文説話は登場人物のひとり（多くの場合、物語の主人公）の視点から語られるスタイルで、三人称が主語となる用例をあまり収集できないという事情があるため、本稿では、与えられた見出しが三人称主語である場合でも、一人称主語の用例を採用している箇所がある。また、引用した用例は1950~80年代頃に収集・採録されたと考えられるものであるが、神保・金澤(1986[1898])のように百数十年以上前のものも含まれる。

引用にあたり、アイヌ語の原典の表記に変更を加えたものがある¹。また、日本語訳は原則原典に従ったが、主語などをカッコ書きで補足したものもある。散文説話からの用例については、用例の日本語訳末尾に【説話】と記した。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・commons 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ 表記は北海道ウタリ協会編(1994)『アコロ イタク』に準拠した。但し、人称接辞境界の記号は同書では「=」（半角イコール）で表記するが、本稿では便宜上「-」（半角ハイフン）とした。

2. データ

6-1 【直接影響・変化】

6-1-a 彼はそのハエを殺した.

- (1) ne seta rayke hine
その 犬 ~を殺す² して

(おじいさんは) その犬を殺して…【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0201UT_35227AP)

6-1-b 彼はその箱を壊した.

- (2) pirka tukinum ku-hacire wa ku-perpa.
良い 杯の椀 1SG.NOM~を落とす して 1SG.NOM~を壊す
よい杯の上の粒 (椀の部分) を私は落として割ってしまった

(萱野 1996 : 404)

6-1-c 彼はそのスープを温めた.

- (3) su sesekka hine
鍋 ~を温める して

(姉さんは) 鍋を温めて…【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0162KM_34692AB_34693ABP)

6-1-d 彼はそのハエを殺したが、死ななかった。(言えるか?, 言えないか?)

不明

6-2 【直接影響・無変化】

6-2-a 彼はそのボールを蹴った.³

- (4) apaotki a-sitayki⁴ hine awosma-an akusu
戸口のすだれ 1SG.NOM~を叩く して 中へ飛び込む-1SG.NOM すると

(私は) 戸口のすだれを叩いて家に飛び込むと【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0179KM_34724AP)

sitayki は「何でもなくただたくことを言う。人をなぐったり音を出すためにドアやたいこや物をたたいたりするのは kik または kikkik, 手の先で軽くトントンとたたくことは tata または tatatata (田村 1996 : 664)」.

² アイヌ語では動詞の主語と目的語の人称標示が義務的であり、ゼロ標示の場合 3 人称 (または命令文) となる。

³ 国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ収録の語彙調査 (資料番号 34744BP) には、「足とかで何か、石ころ蹴っ飛ばしたりして、足で蹴っ飛ばすことは?」『a-urectursere』「人を蹴っ飛ばすのも、物を蹴っ飛ばすのもそう?」『人を蹴っ飛ばす, そんなことなんか. a-oterke (人が~を踏む) っても言う.』というやりとりがあるが, 具体的な用例は無く, 明確な区別があるかどうかは不明である。

⁴ 日常会話における 1 人称主格人称接辞は ku- であるが, 物語中では「私は」という意味を表す際に人称接辞 a-/an が用いられる。a-/an は包括的一人称複数「(話し相手を含む)私たちが」, 不定人称「(不特定多数の) 人が」, 敬意の二人称「あなたさまが」, 物語文中・引用文中の一人称を表す用法を持つ。他動詞に付く場合は a-, 自動詞につく場合は -an となる。

6-2-b 彼女は彼の足を蹴った.

- (5) ku-kor hapo en-kikkik.
 1SG.NOM~を持つ 母 1SG.OBJ~を叩く
 私のお母さんが私を叩いた

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : 34656BP)

6-2-c 彼はその人にぶつかった (故意に).

okamkir 「わざと, 故意に」などを意味する副詞はあるが, 本項目に沿う用例は収集できなかった.

6-2-d 彼はその人とぶつかった (うっかり).

- (6) ku-hoyupu wa nisap k-as ka eaykap wa
 1SG.NOM-走る して 急に 1SG.NOM-立つ.SG も できない して
 e-tom k-osma hi ne a p un.
 2SG.OBJ-中 1SG.NOM~に入る こと である した もの よ
 私も走って来て急に立ち止まることができなくてあなたにぶつかったのだよ.

(田村 1996 : 422)

6-3 【知覚 2A vs. 2B】

nukar は「...を見る, ...が見える, ...に会う, (本など)を読む(黙読する), ...をよく見て調べる (田村 1996 : 439)」などの意味を表す. nu は「(声や音)を聞く/が聞こえる, (話や事柄)を聞く/を聞いて知る/を聞いて従う, (自分の体調)を感知する, (匂い/臭気)を感じる. (田村 1996 : 437)」といった意味を表す.

6-3-a あそこに人が数人見える.

- (7) maciya ka ku-nukar, atuy ka ku-nukar.
 町 も 1SG.NOM~を見る 海 も 1SG.NOM--を見る
 町も見える, 海も見える.

(田村 1996 : 439)

- (8) pirka kaysankannu uske ta kane cise poro cise sinep
 良い 平らな場所 ところ LOC 金 家 大きい 家 一つ
 as wa an siri a-nukar akusu
 立つ.SG して いる.SG 様子 1SG.NOM~を見る すると
 平らな場所に金の大きな家が一軒建っているのが見えました. 【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0159KM_34683ABP)

6-3-b 私はその家を見た.

- (9) cise onnay a-nukar hike
 家 中 1SG.NOM~を見る したところ
 (私は) 家の中を見ると・・・ 【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0159KM_34683ABP)

6-3-c 誰かが叫んだのが聞こえた.

- (10) *kucipeker menoko sinotca haw a-nu.*
 声が澄んでいる 女 歌 声 1SG.NOM~を聞く
 (私には)⁵ 澄んだ声の女性が歌う声が聞こえた. 【説話】

(田村 1996 : 437)

6-3-d 彼はその音を聞いた.

- (11) *apapa ta ek humihi a-nu kor an-an*
 戸口 LOC 来る.SG その音.POSS 1SG.NOM~を聞く しながら いる.SG-1SG.NOM
 (私はクマが) 戸口の前に来た音を聞いていました. 【説話】
 (国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0237UT_35301AP)

6-4 【(知覚 2A) 発見・獲得・生産など】

6-4-a 彼は(なくした)カギを見つけた.

- (12) *a-isamka a p a-pa.*
 INDF.NOM-なくす した もの INDF.NOM~を見つける
 なくしたものを見つけた.

(本田 2001 : 61)

6-4-b 彼は椅子を作った.

- (13) *pon cise kar wa*
 小さい 家 ~を作る して
 (おじいさんは) 小さな家をこしらえて… 【説話】
 (AA 研アイヌ語資料公開プロジェクト 川上まつ子「*uwepeker* ウウェペケレ民話 10」)

6-5 【追及】

6-5-a 彼はバスを待っている.

- (14) *saru tere wa an yakka*
 猿 ~を待つ して いる.SG したが
 サルは(カメを) 待っていましたが… 【説話】
 (国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0235UT_35300AP)

6-5-b 私は彼が来るのを待っていた.

- (15) *e-ek kuni ohonno eci-tere wa k-an.*
 2SG.NOM-来る.SG こと 長い間 1SG.NOM.2SG.OBJ~を待つ して 1SG.NOM-いる.SG
 あなたが来るのをずっと長いこと待っていた.

(本田 2001 : 58)

⁵ この日本語訳のカッコ書きは原典通り.

6-5-c 彼は財布を探している.

(16) apepasuy ku-hunara.

火箸 1SG.NOM~を探す

私は火箸を探している. [原文: 火箸を探して居ります]

(神保・金澤 1986[1898]: 96)

6-6 【知識 1】

例(17)の eraman (または eramuan) は「...がわかる, ...を知(っている), 覚える (田村 1996: 113)」といった意味で, 対象についての知識があることを表す. 例(18)の amkir は「...に覚えがある, (人)を見知(っている), (この人)だとわかる (田村 1996: 8)」, 例(19)の kir は「...におぼえ (見覚え, 聞き覚え)がある, ...である人だとわかる. (田村 1996: 308)」という意味を表す. easkay は例(20)のように他動詞としてはたらく場合と, 例(21)のように助動詞としてはたらく場合がある.

6-6-a 彼はいろんなことをよく知っている.

(17) eani anak neun oka uske ka ru e-eraman.

2SG.PRN TOP どう ある.PL 所 も 道 2SG.NOM~を知っている

あなたはどんな所でも道を知っている

(本田 2001: 48)

6-6-b 私はあの人を知っている.

(18) “tap ek kur e-amkir kur ne ruwe?”

今 来る.SG 人 2SG.NOM~に見覚えがある 人 COP Q

“teeta ku-nukar pe ne a wa.”

昔 1SG.NOM~を見る もの COP した よ

「今来た人はお前の知っている人かい？」

「ずっと前に私が見たことがある者だよ」

(萱野 1996: 35)

(19) “sonnoka raciwe a-kir.”

本当に その眉.POSS 1SG.NOM~に見覚えがある

「確かにその眉のあたりの形に見覚えがある。」【説話】

(千葉大学編 2015b: 1723)

6-6-c 彼はロシア語ができる.

(20) aynu itak easkay.

アイヌ 言葉 ~ができる

(彼/彼女は) アイヌ語ができる.

(服部編 1964: 156)

(21) ye easkay

~を言う できる

(彼/彼女は) 話せる

(服部編 1964 : 156)

6-7 【知識 2】

6-7-a あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？

(22) e-eramuan ?

2SG.NOM~を知っている

あなたは(このことを)⁶わかりますか／知っていますか／覚えていますか？

(田村 1996 : 115)

6-7-b 私は彼の電話番号を忘れてしまった。

(23) hemanta ku-ye kus ne a ka k-oyra.

何 1SG.NOM~を言う ~するつもり COP Q も 1SG.NOM~を忘れる

私は何を言おうとしていたのか忘れた。

(田村 1996 : 502)

6-8 【感情 1】

例(24)の *omap* は、「...をかわいがる(主に子どもを. 心の中でかわいいと思うことだけでなく, だいたりなでたりなど, 具体的にかわいがる行為をすることをも含む). (田村 1996 : 467)」という意味であり, 子どもに対する愛情を表す。「嫌う」ことを表す動詞については例(26)の *pak* や, *konukosne* 「~が憎らしい」などがある. また, *emaka* 「~を嫌う」などもあるが, こちらは「物や食べ物などに使う (萱野 1996 : 153)」ようである.

6-8-a 母は子供たちを深く愛していた。

(24) a-kor huci a-kor ekasi earkinne

1SG.NOM~を持つ おばあさん 1SG.NOM~を持つ おじいさん とても

i-omap wa

1SG.OBJ~を可愛がる して

おじいさんおばあさんは私をとともかわいがってくれて・・・【説話】

(アイヌ語口承文芸コーパス : K7803231UP)

6-8-b 私はバナナが好きだ。

(25) karimpani iyotta k-eramasu.

桜 一番 1SG.NOM~を気に入る

私は桜が一番好きだ。[原文：桜が一番すきだ]

(神保・金澤 1986[1898] : 111)

6-8-c 私はあの人が嫌いだ。

(26) toan pe ku-pak.

あの 1SG.NOM~を嫌う

あいつ気に入らない。

(田村 1996 : 505)

⁶ この日本語訳のカッコ書きは原典通り。

6-9 【感情2】

「～が欲しい」は, 例(27)のように所有を表す他動詞 kor と願望の助動詞 rusuy によって表される。また, 必要であることを表す際にもこの kor rusuy が使われる (例(28)) ほか, 例(29)の「使うことになる」のような表現もみられた。

6-9-a 私は靴が欲しい。

- (27) tumpu rep ku-kor rusuy.
 部屋 三つ 1SG.NOM~を持つ したい
 私は部屋が三つ欲しい。〔原文：三つ部屋が欲しい〕

(神保・金澤 1986[1898] : 219)

6-9-b 今, 彼にはお金が要る。

- (28) icen poronno a-kor rusuy.
 お金 たくさん 1SG.NOM~を持つ したい
 (私は) お金がたくさん必要だ。

(本田 2001 : 63)

- (29) poronno icen k-eywanke oasi.
 たくさん お金 1SG.NOM~を使う ~することになる
 (私は) お金がたくさん要る。

(服部編 1964 : 128)

6-10 【感情3】

6-10-a (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている。

- (30) ene i-kokatun pa a hi a-koyruska p
 あのように 1SG.OBJ~する態度をとる PL した こと 1SG.NOM~に怒る もの
 ne kusu
 COP ので

(いとこ兄弟たちが) あのように私にふるまったことに私は怒りを覚えたので 【説話】

(AA 研アイヌ語資料公開プロジェクト 川上まつ子「uwepeker ウウェペケレ民話 14」)

6-10-b 彼は犬が怖い。

- (31) kotan or ta an-an ka a-sitoma
 村 ~のところ LOC 1SG.NOM-いる.SG も 1SG.NOM~を恐れる
 (私は) 村にるのがこわくなった。【説話】

(アイヌ語口承文芸コーパス : K7908051UP)

6-11 【関係1】

例(32)の neno は名詞句に後続して格助詞的に働き, 「...に似て, (...と)同じように, そのように, それなりに (田村 1996 : 410)」という意味を表す。また, 「nenno an」で「～に似ている, ～に似たような」という意味を表す。例(33)は他動詞 koheraye 「～に似ている」を用いた表現である。

6-11-a 彼は父親に似ている.

(32) onaha neno an.

父.POSS のような ある.SG
(彼/彼女は) 父親に似ている

(服部編 1964 : 153)

(33) unuhu koheraye.

母.POSS ~に似ている
(彼/彼女は) 母親に似ている

(萱野 1996 : 245)

6-11-b 海水は塩分を含んでいる.

不明

6-12 【関係 2】

コピュラ動詞 *ne* は, 例(34)のようにデアルの意味を表すほか, 例(35)のようにナルという意味も表す. また, ナルの意味は「格助詞 *ne* + 存在動詞 *an*」(例(36)) や, 存在動詞 *an* によっても表される場合がある (例(37)).

6-12-a 私の弟は医者だ.

(34) toan uske k-unihi ne.

あの 所 1SG.NOM-家.POSS COP
あそこは私の家だ.

(田村 1996 : 407)

6-12-b 私の弟は医者になった.

(35) apto ne a korka pesos ne.

雨 COP した したが みぞれ COP
雨であったがみぞれになった.

(萱野 1996 : 355)

(36) siporo cikap ne an.

巨大な 鳥 TRANS ある.SG
(彼は)⁷巨大な鳥になった.

(田村 1996 : 9)

(37) kunneywa an

朝 ある.SG
朝になる.

(田村 1996 : 9)

⁷ この日本語訳のカッコ書きは原典通り.

6-13 【能力1】

6-13-a 彼は車の運転ができる.

(38) ehuyne pakno X kuruma o easkay yakka

たとえ まで 車 ~に乗る ~ができる しても

na okkasi ta easkay kur an.

まだ その上 に ~ができる 人 いる.SG

さすがの X さんがどんなに車の運転が上手でも, まだそれ以上に上手な人がいる.

(田村 1996 : 84)

6-13-b 彼は泳げる.

(39) e-ma easkay ?

2SG.NOM-泳ぐ ~ができる

あなたは泳げますか.

(田村 1996 : 373)

6-14 【能力2】

6-14-a 彼は話をするのが上手だ.

(40) sinot itak easkay wa a-ukominare.

遊び 言葉 ~ができる て INDF.NOM~を皆笑う

(『あの人は冗談を言って人を笑わせるのが好きだ』っていうのは?』という質問に対して)

(あの人は) 冗談を言うのが上手で人を笑わせる

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : 34742AP)

6-14-b 彼は走るのが苦手だ.

(41) ku-kemeyki eaykap pe ne kusu

1SG.NOM-針仕事をする ~ができないもの COP ので

ku-hankeyompa ku-tuymayompa a-emina noyne.

1SG.NOM-近くを縫う 1SG.NOM-遠くを縫う INDF.NOM~を笑う ようだ

私は針仕事が下手なので, 近くへ針を刺し遠くへ針を刺し, 笑われそうだ.

(萱野 : 122)

(42) ku-ma eaykap.

1SG.NOM-泳ぐ ~ができない

(私は) 泳ぐことができない.

(服部編 1964 : 156)

6-15 【移動】

6-15-a 彼は学校に着いた.

(43) a-kotanu ta sirepa-an hine

1SG.NOM-村.POSS LOC 到着する-1SG.NOM して

(私は) 私の村に着きました【説話】

(アイヌ民族博物館編 2015 : 193)

- (44) a-kotanu a-kosirepa
 1SG.NOM-村.POSS 1SG.NOM ~に到着する
 (私は) 私の村に到着しました。【説話】
 (国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0169KM_34708BP)

6-15-b 彼は道を渡った／横切った.

tomotuye は動詞としても後置副詞としてもはたらく。(例(45)(46))

- (45) pet ku-tomotuye wa
 川 1SG.NOM~を横切る して
 私は川を渡って…

(田村 1996 : 721)

- (46) atuy tomotuye paye-an ayne
 海 ~を横切って 行く.PL-1PL.NOM あげく
 (私たちは) 海を渡って進み…【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0235UT_35300AP)

6-15-c 彼はこの道を通った.

kus などの動詞で表すほか, 例(48)のように経由地を表す kari 「~を通って」を用いる例もある.

- (47) asinuma anak ruyka a-kus hine
 1SG.PRN TOP 橋 1SG.NOM~を通る して
 私は橋を渡って…【説話】

(大谷 2001 : 131)

- (48) kiroru kari ran-an ruwe ne akusu
 広い道 VIA 下りる.SG-1SG.NOM こと COP すると
 その道を通って私が下りると【説話】

(千葉大学 2015a : 1526)

6-16 【感覚 1】

6-16-a 彼はお腹を空かしている.

- (49) ku-iperusuy humi !
 1SG.NOM-腹が減る 感じ
 (私は) 腹が減ったなあ

(萱野 1996 : 71)

- (50) iteki opitta e no ponno anu.
 PROH 全部 ~を食べる して 少し ~を残す
 e-saha iperusuy kor ek nankor na.
 1SG.NOM-姉.POSS 腹が減る しながら 来る.SG だろう よ
 全部食べないで少し残せ。お前の姉が腹をすかせて来るであろうから.

(萱野 1996 : 71)

iperusuy は「空腹である」という意味の自動詞であり, 自動詞 ipe 「食事する」と願望を表す rusuy から成る. rusuy は通常, 例(27)(28)のように助動詞として用いられるが, ここでは接尾要素となっている.

6-16-b 彼は喉が渴いている.

- (51) ku-rekuci satsat.⁸
 1SG.NOM-喉.POSS 渴く.RDP
 私はのどが渴いた.

(田村 1996 : 572)

6-17 【感覚 2】

人が寒さを感じる時は 1 項動詞 merayke (例(52)), 気候が寒いときは 0 項動詞 mean (例(53)) が使われる.

6-17-a 私は寒い.

- (52) ku-merayke na. hokure ape ari.
 1SG.NOM-寒い よ 早く 火 (火を)焚く
 私は寒いから早く火を燃やしてくれ.

(萱野 1996 : 432)

6-17-b 今日は寒い.

- (53) tanto po hene mean. hokure apesam un ek wa apekur.
 今日 なお EMPH 寒い 早く 火の側 へ 来る.SG して 火にあたる
 今日はなおさら寒い. 早く火の前へ来て火にあたれ.

(萱野 1996 : 430)

6-18 【(社会的) 相互行為 1】

6-18-a 私は彼を手伝った/助けた.

- (54) a-unuhu kasuy kor an
 1SG.NOM-母.POSS ~を手伝う しながら いる.SG
 (私の妻は) (私の) 母の手伝いをしながら (いて) … 【説話】

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0179KM_34724AP)

6-18-b 私は彼がそれを運ぶのを手伝った.

- (55) nea sisam nispa a-koyantone hine hekattar utar
 その 和人 長者 1SG.NOM-~のところに泊まる して 子ども達 ~たち
 a-omap kor a-respa eykasuy kor
 1SG.NOM-~を可愛がる しながら 1SG.NOM-~を育てる.PL ~の手伝いをする しながら

⁸ 辞典の同項目には, 「のどが渴く」の意味として「rekuci sat」または「rekuci satsat」の両方の言い方があることが記されている. sat は「渴く, 渴いている」を意味する自動詞である. アイヌ語では形容詞的意味を表す語は文法的・意味的に自動詞と同じふるまいをするため, 形容詞という品詞を立てていない.

an-an

いる.SG-1SG.NOM-

私はその和人のだんなの所に置いてもらって、子どもたちをかわいがって育てるのを手伝って暮らしていた。【説話】

(田村 1996 : 163)

6-19 【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

6-19-a 私はその理由を彼に聞いた。

(56) cis kor patek an hi kusu sineanta a-kouepekennu.

泣く しながら ばかり いる.SG こと ので ある日 1SG.NOM~に理由を尋ねる

(母は) 泣いてばかりいるので、ある日わけを尋ねた。【説話】

(アイヌ民族博物館編 1997 : 35)

6-19-b 私はそのことを彼に話した。

(57) tapne ne wa ek-an hi a-ye akusu

このように COP して 来る.SG-1PL.NOM こと 1SG.NOM~を言う すると

このようになって私たちが来た事情を話すと…【説話】

(大谷 2019 : 85)

6-20 【再帰・相互】

「~に会う」は他動詞 *nukar* を以て表される (例(58))。また、自動詞 *unukar* 「互いに会う」を用いた表現もある (例(59))。

6-20-a 私は彼と会った。

(58) te ta tutko rerko k-an na.

ここ LOC 2日 3日 1SG.NOM-いる.SG よ

e-onaha e-unuhu ku-nukar rusuy.

2SG.NOM-父.POSS 2SG.NOM-母.POSS 1SG.NOM~を見る したい

ここには2,3日いるから、あなたのお父さんやお母さんにも会いたい。

(本田 2001 : 36)

(59) ukattuyma no unukar-an

長い間をおく して 互いに会う-1PL.INCL.NOM

(私たちは) ずいぶん久しぶりに会った

(本田 2001 : 57)

略号

1,2: 1,2 人称 (3 人称はゼロ標示), COP: コピュラ, EMPH: 強調, INCL: 包括, INDF: 不定, INS: 具格, LOC: 場所格, NOM: 主格, OBJ: 目的格, PL: 複数, POSS: 所有, PRN: 人称代名詞, Q: 疑問, RDP: 重複, SG: 単数, TOP: 主題, TRANS: 変格, VIA: 経由格

参考文献

- アイヌ民族博物館編(1997)『伝承記録3 上田トシのウエペケレ』アイヌ民族博物館.
- アイヌ民族博物館編(2015)『上田トシの民話』3, アイヌ民族博物館.
- 大谷洋一(2001)「松島トミさんの口承文芸 3」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』7, pp.95-147, 北海道立アイヌ民族文化研究センター.
- 大谷洋一(2019)「アイヌ口承文芸「散文説話」ータンネサラの男ー」『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』4, pp.79-92, 北海道博物館.
- 萱野茂. 1996. 『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂.
- 神保小虎・金澤庄三郎. 1986[1898]. 『アイヌ語會話字典』(新版) 北海道出版企画センター.
- 田村すず子. 1996. 『アイヌ語沙流方言辞典』草風館.
- 千葉大学編. 2015a. 『アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究事業 第2年次(北海道沙流郡平取町) 調査研究報告書 2/3』千葉大学.
- 千葉大学編. 2015b. 『アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究事業 第2年次(北海道沙流郡平取町) 調査研究報告書 3/3』千葉大学.
- 服部四郎編. 1964. 『アイヌ語方言辞典』岩波書店.
- 北海道ウタリ協会編. 1994. 『アコロ イタク AKOR ITAK アイヌ語テキスト1』クルーズ.
- 本田優子. 2001. 「川上まつ子アイヌ語文例集」『アイヌ民族博物館研究報告』7, pp.9-76, アイヌ民族博物館.
- 「AA 研アイヌ語資料公開プロジェクト」, <<https://ainugo.aa-ken.jp/>>. (2023-12-29 閲覧)
- 「国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ」, <<https://ainugo.nam.go.jp/>>. (2023-12-29 閲覧)
- 中川裕, アンナ・ブガエワ, 小林美紀, 吉川佳見(2016-2020)「アイヌ語口承文芸コーパスー音声・グロス付きー」, <<https://ainucorpus.ninjal.ac.jp/>>, 国立国語研研究所. (2023-12-29 閲覧)

執筆者連絡先 : yoshikawa.yoshimil@pref.hokkaido.lg.jp

原稿受理 : 2023 年 12 月 30 日